

TOTO

オートクリーンC (オールインワンタイプ・AC100Vタイプ)

TEF11型
TEF21型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)




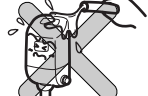


取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。






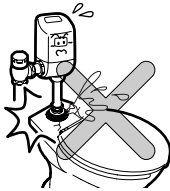
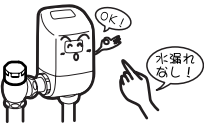
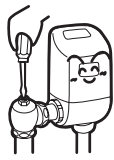
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 必ず実行	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 警告	
 禁止	<p>ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。</p> 
	<p>電源プラグや機能部に水をかけない 火災や感電の原因になります。</p> 
	<p>指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない 火災の原因になります。</p>  <p>交流の100V以外はダメ!</p>
	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> 

 警告	
 禁止	<p>電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない 火災や感電の原因になります。</p> 
	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p> 
 接触禁止	<p>ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</p> 
	<p>雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。</p> 
 必ず実行	<p>電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。</p> 
	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。</p>  <p>根元までしっかりと!</p>
 水場使用禁止	<p>浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障や感電の原因になります。</p> 
 分解禁止	<p>分解したり、修理・改造は絶対に行わない 火災や感電の原因になります。</p> 

注意

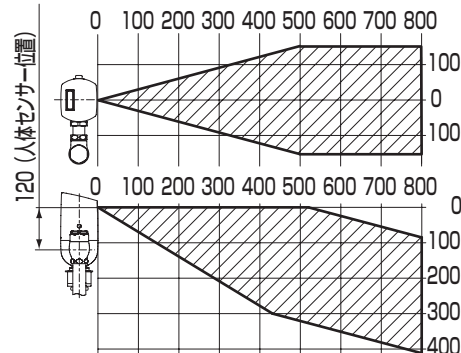
 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	凍結が予想される場所には設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけない 洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。	
 必ず実行	空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする 新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	取付接続部に腐食・ひび割れ・水漏れなどのないことを十分に確認のうえ、取り付ける 故障や水漏れの原因になります。	
	ピストンの掃除をする際は、いきなりピストンを取り出さずに、止水栓または元栓を閉めてから行う (取扱説明書を参照してください) 水が噴き出て、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

取り付け前に

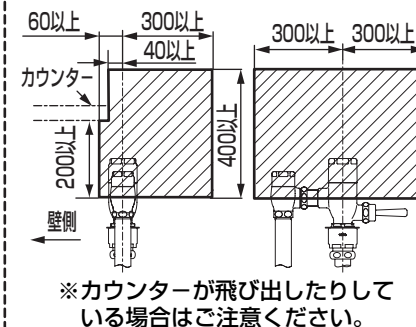
1. 取付条件の確認

- 節水タイプの自動バルブユニットです。TOTOの専用腰掛便器との組み合わせでご利用ください。他社製便器には取り付けできませんのでご注意ください。
- 下図A～Dの場合は取り付けできませんので、事前にご確認ください。

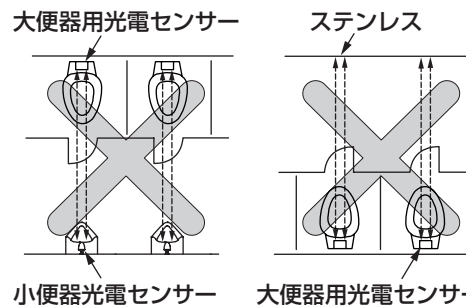
A. 下記感知領域内に障害物がある場合



C. 既設フラッシュバルブ付近に手すりなどがある場合 (斜線は必要空間寸法)



B. 光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合、光電センサー同士が対向する場合



D. トイレアームレスト、簡易昇降便座 人体センサー取付位置の関係上、誤感知しますので、使用できません。

- 水道工事と電気工事は、十分に工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- コンセントの位置はコードが届く範囲内に設けてください。(コード長さは約1.3m)
- ※ C14系・C21系の床給水便器からの取り替えの場合は、専用の洗浄管とフランジが必要です。別途、TN129 (水道水以外を使用する場合はTN129D) を手配してください。

2-2

2.センサーについて

- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動（感知）しない場合や誤作動する場合があります。
- 男性が立位で小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係より、使用者を感知することができません。
- 幼児用便座、前丸便座をご使用の場合、使用後、または清掃後は便座を下げてください。
- 施工の際にセンサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

3.洗浄について

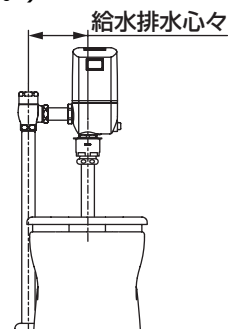
- TEF11型は水道水のみ、TEF21型は水道水・井戸水・再生水・雑用水に使用できます。ただし、井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

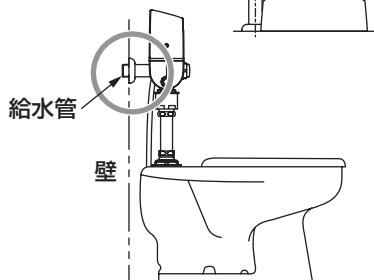
4.その他

- 給水排水心々
180mm以外は、下記品番の接続金具をご購入のうえ、施工の前にお取り替えください。（取替要領は「**1** 接続金具の交換」を参照してください）

	TOTO用		
給水排水心々(mm)	100	120	156
品番	TH342	TH342-4	TH342-2



- 施工の際に電源のコードが大便器内の水に入らないよう十分にご注意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますますが商品には問題ありません。
- 右図** 以外の設置形態の場合は、パイプホルダーなどで給水管や洗浄管を確実に固定してください。



3

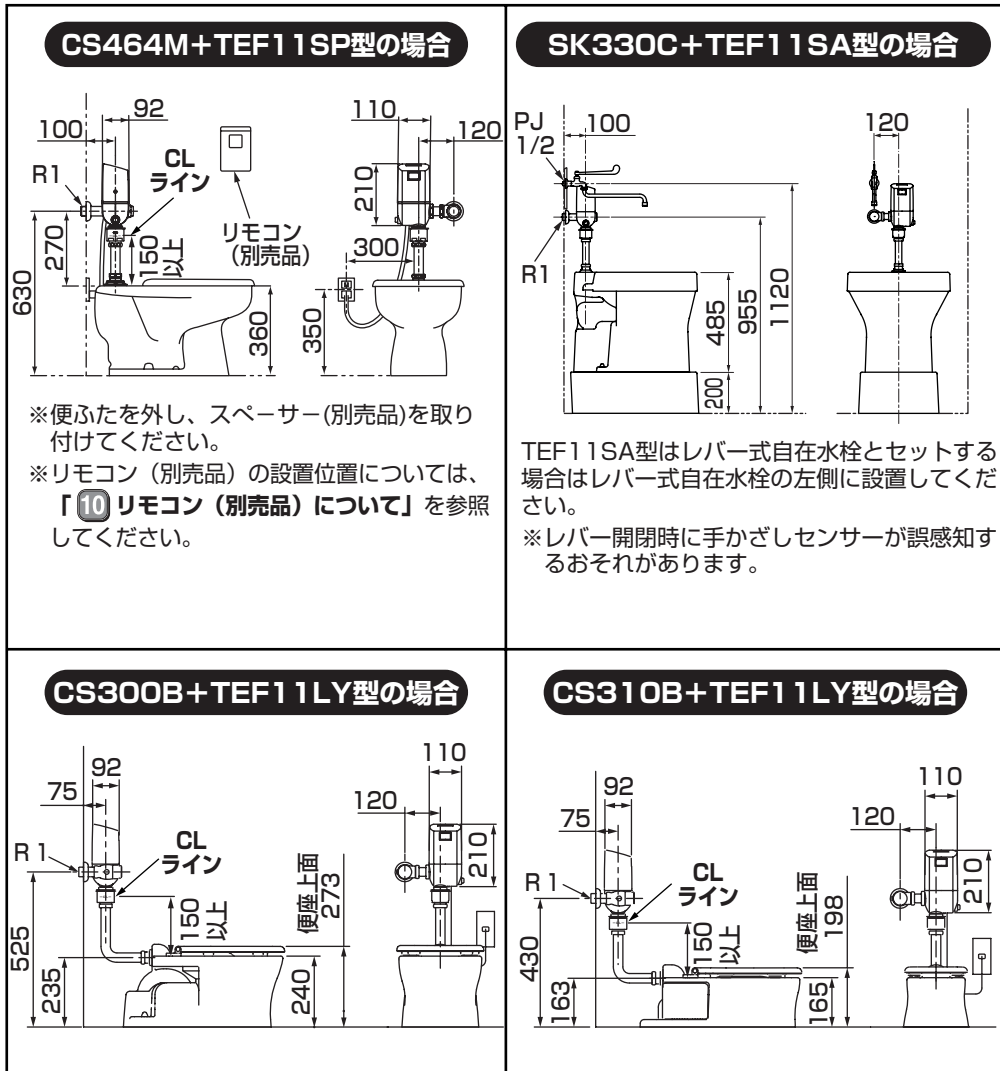
仕様

オートクリーンC		TEF11C1P型・TEF11SP型 TEF21C1P型・TEF21SP型	TEF11LY型	TEF11SAP型 TEF21SAP型
洗浄水量調節範囲	大	5.5～7.5L 調節可能	6～8L 調節可能	6～8L 調節可能
	小	4.5～5.5L 調節可能	5～6L 調節可能	—
工場出荷時標準洗浄水量		大：5.5L 小：4.5L	大：6L 小：5L	大：6L
給水圧力	最低必要水圧 (流動時)	0.07MPa		
	最高水圧 (静止時)	0.75MPa		
電源		AC100V 50/60Hz		
消費電力	常時	3W以下		
	バルブ作動時	5W以下		
電源コード長さ		約1.3m		
感知距離	人体センサー	800～500mmで4段階調節可能 (白紙□300の場合)		—
	手かざしセンサー	110mm (白紙□300の場合)		
人体感知時間		6秒間以上		—
自動洗浄開始時間		人体感知が切れて約10秒後		—
手かざし感知時間		2秒/0.5秒の切替可能 工場出荷時：0.5秒		
小洗浄判定時間		120秒または150秒に設定可能 (工場出荷時は120秒に設定)		—
自動洗浄(入/切 切替可能)		工場出荷時：入		工場出荷時：切
大小洗浄(大/大小 切替可能)		工場出荷時：大小		工場出荷時：大
設備保護洗浄		入/切 切替可能 工場出荷時：入 24時間洗浄がない場合は自動洗浄します		
給水接続部		25A(ねじサイズ) R1)		
使用温度範囲		1～40℃		
使用水		TEF11型：水道水のみ TEF21型：水道水・井戸水・再生水・雑用水(注)		

※注：井戸水・再生水・雑用水は使用できる水質範囲があります。詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。
ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

4 完成図

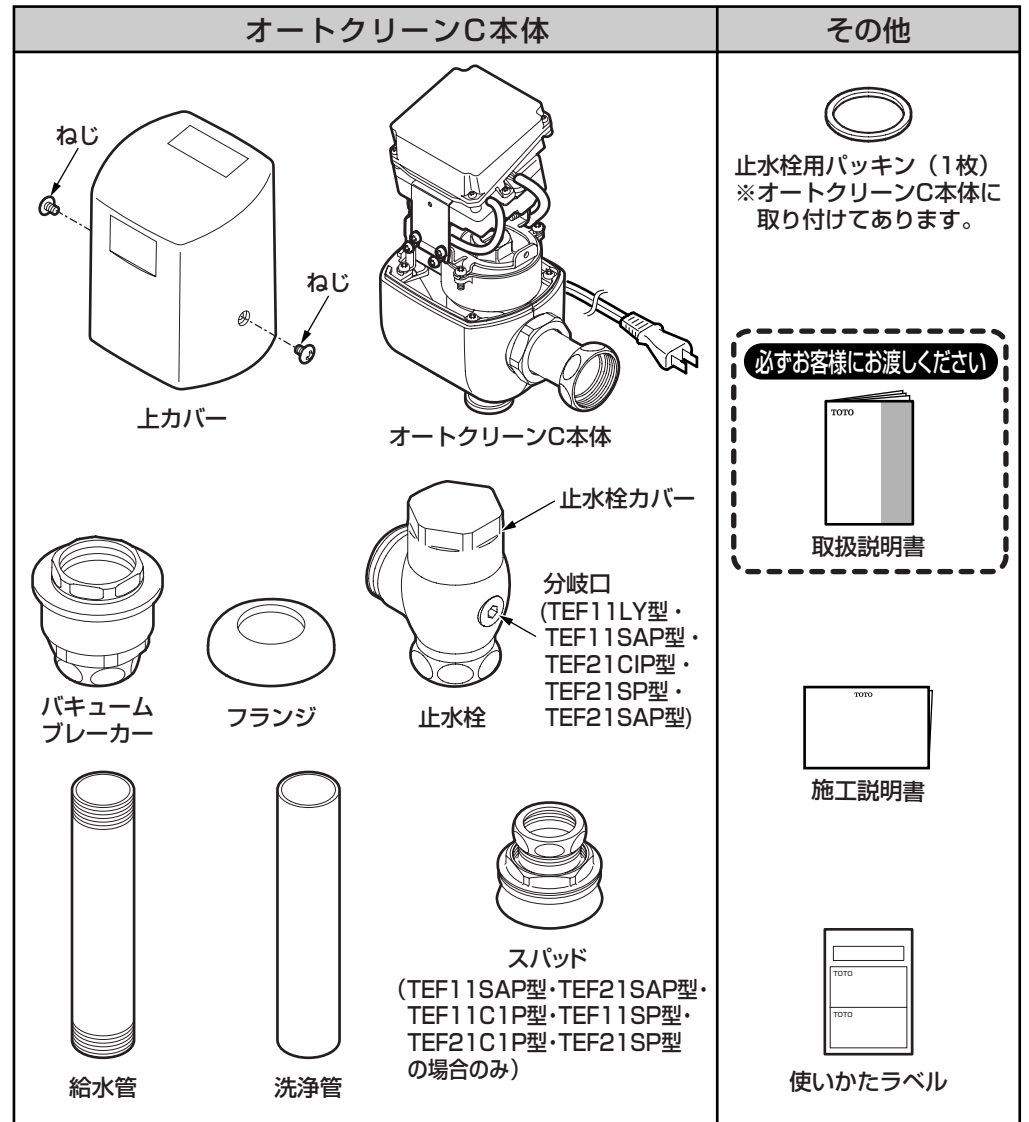
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※バキュームブレーカ側面の「CL」ラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。
 「CL」(Critical Installation Level)とは、バキュームブレーカの空気吸入シート面の位置を示す線です。

5 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。
 ※C14系・C21系の床給水便器からの取り替えの場合は、専用の洗浄管とフランジが必要です。
 別途、TN129 (再生水を使用する場合はTN129D) を手配してください。

6-1

施工手順

- 5 オートクリーンC本体の取り付け
- 6 洗浄水量調節について
- 9 上カバーの取り付け

8 水勢の調節

7 リモコンおよびその他の設定
※リモコンは別売品です。

10 プラグの差し込み

4 バキュームブレーカーの取り付け

3 給水管・洗浄管の取り付け

1 便ふたの取り外し

1 便ふたの取り外し

便ふたを外す。
〈普通便座の場合〉

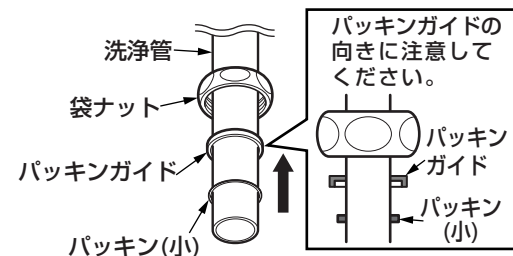
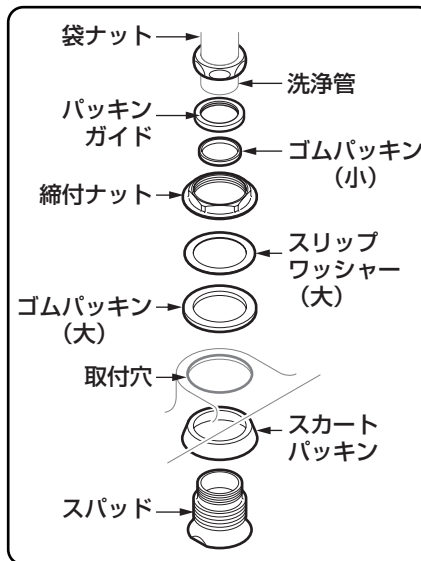
色番	色彩	対応スペーサー
#NW1	ホワイト	D59025
#N11	ベールホワイト	
#SC1	パステルアイボリー	
#SR2	パステルピンク	
#SM2	パステルブルー	
上記色番以外		D59025 t1

※その他の便器（暖房便座、ウォシュレット便座）については、当社各支社、営業所にお問い合わせください。



〈他社便座の場合〉
便ふたなしの便座にお取り替えてください。

2-1 スパッドの取り付け



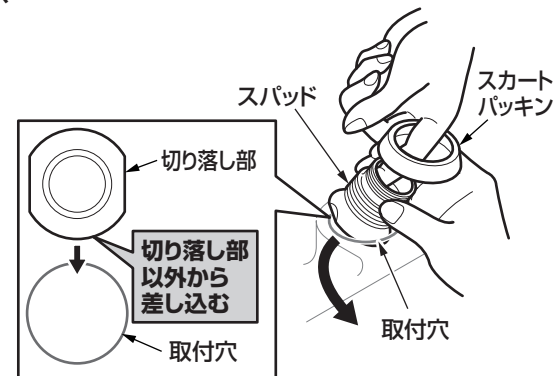
注意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

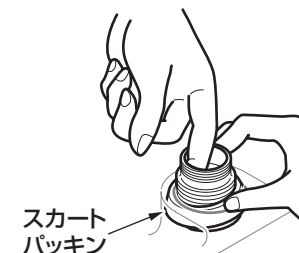
① 洗浄管に袋ナット、パッキンガイド、パッキン（小）を挿入する。

② あらかじめ指にスカートパッキンを通し、スパッドを落とさないように取付穴に差し込む。

右図のように切り落し部以外から取付穴に入れ、切り落し部を通過させるように差し込んでください。
※始めに切り落し部から差し込むと、取付穴と干渉し、通過しない場合があります。



③ スパッドと陶器の間にスカートパッキンを押し込み、スパッドに組み込む。



2-2 スパッドの取り付け(つづき)

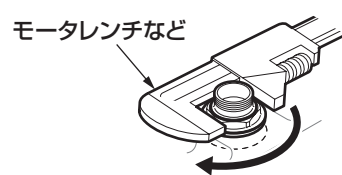
④ゴムパッキン(大)・スリップワッシャー(大)の順にスパッドに組み込む。



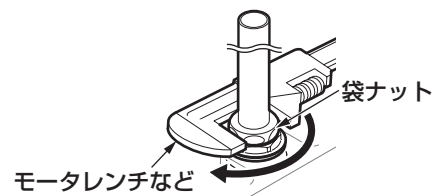
⑤あらかじめ指に縮付ナットを通し、スパッドを取付穴の中心で引き寄せ、縮付ナットを手で締め込む。



⑥最後にモータレンチなどの工具を使用して確実に締め込む。



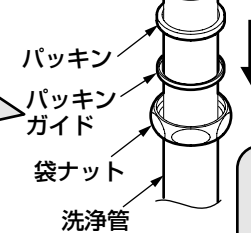
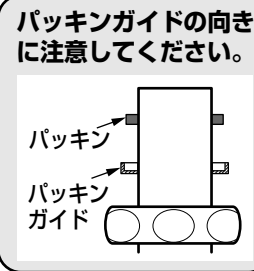
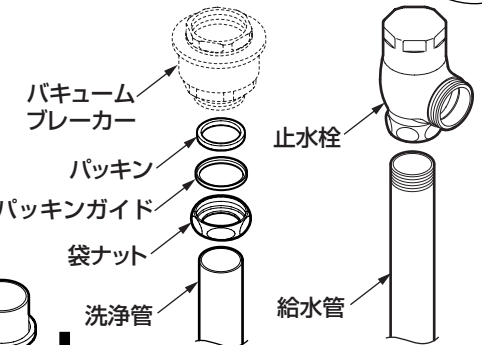
⑦①でセットしたスパッドに洗浄管を差し込んで、袋ナットを締める。



3 給水管・洗浄管の取り付け

取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

- ①給水管・洗浄管を所定の位置に接続する。
- ②給水管に止水栓を取り付ける。
- ③洗浄管にバキュームブレーカーの袋ナット、パッキンガイド、パッキン、パッキンガイド、袋ナットを挿入する。

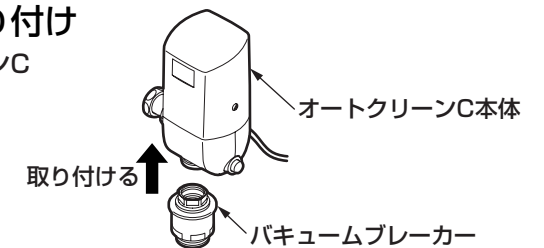


注意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

4 バキュームブレーカーの取り付け

バキュームブレーカーをオートクリーンC本体に取り付ける。



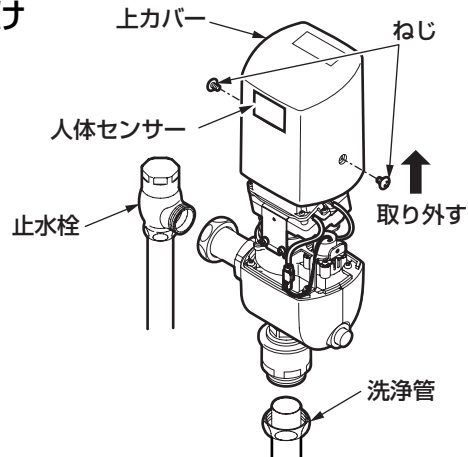
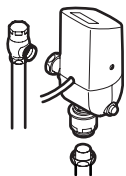
重要

5 オートクリーンC本体の取り付け

- ①オートクリーンC本体を止水栓・洗淨管に取り付けた際の人体センサーの位置を確認し、上カバーを固定しているねじを2本外し、上カバーを取り外す。

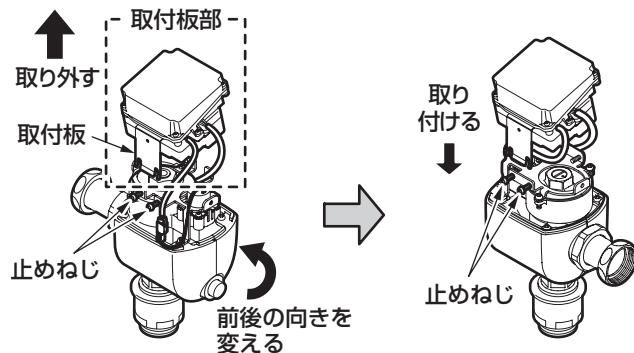
正面を向いている 場合：②へ

背面を向いている 場合：給水方向を変更する。
(下記参照)



給水方向の変更方法

1. 取付板の止めねじをゆるめ、裏側の結束バンドを固定しているねじを外し取付板部を外す。
2. 1.で外したものの前後の向きを変えて、結束バンドを再びねじで固定したあと、取付板部を固定する。



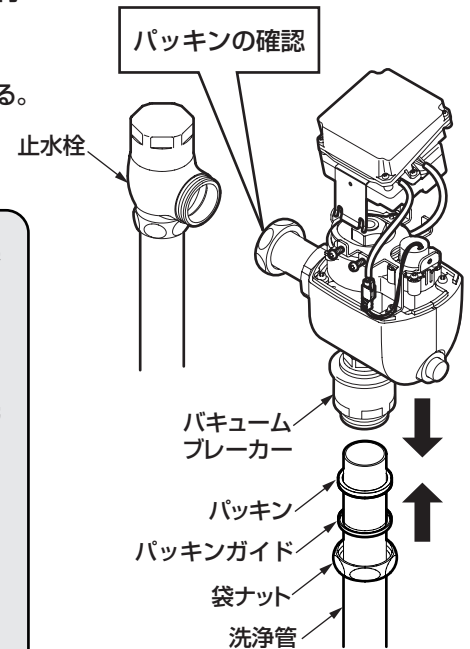
※図は、左給水→右給水を示します。

- ②バキュームブレーカーに袋ナットを取り付ける。

- ③止水栓をオートクリーンC本体に取り付ける。
※パッキンが取り付けられているか確認してください。

注意

- パッキンとパッキンガイドの順番および方向性を確認してください。
- パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。
- オートクリーンC本体を止水栓、洗淨管に固定する際は、モーターレンチなどでコードを引っかけないように十分に注意してください。
- バルブ本体は縦向きに取り付けてください。斜めや横向きに取り付けると不具合の原因になります。



6-1 洗浄水量調節について

取り付ける便器に応じて洗浄水量を調節することにより、高い節水効果が得られます。

下表の要領に従い、**大洗浄水量調節スイッチの設定を行ってください。**

洗浄水量調節は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に調節してください。

オートクリーンC の品番	便器の品番 (TOTO品番)	大洗浄 (洗浄水量調節スイッチ)	小洗浄 (バルブの調節ねじ)	水の流れが弱い場合は、右記のよう調節してください。	大洗浄 (洗浄水量調節スイッチ)	小洗浄 (バルブの調節ねじ)
TEF11C1P型 TEF11SP型 TEF21C1P型 TEF21SP型	CS464M CS465	5.5L 工場出荷状態 調節不要 	4.5L 工場出荷状態 調節不要 		7.5L (注2) 	5.5L 工場出荷状態 調節不要
	CS460M CS469	6L 工場出荷状態 調節不要 	5L (注1) 		8L (注2) 	6L 調節不要
TEF11LY型	CS300B	6L 工場出荷状態 調節不要 	5L 工場出荷状態 調節不要 		8L (注4) 	6L 工場出荷状態 調節不要
	CS310B	6L (注3) 	5L 工場出荷状態 調節不要 		8L (注5) 	6L 工場出荷状態 調節不要
TEF11SAP型 TEF21SAP型	SK330C ※6L洗浄のみです	6L 工場出荷状態 調節不要 	工場出荷状態 調節不要 		8L (注6) 	工場出荷状態 調節不要

【品番の確認方法】

右図を参考にして、便器の品番を確認する。

・・・品番確認位置

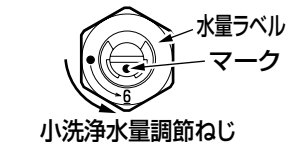


【便器のタイプと設定方法】

●大洗浄水量 <例> 腰掛便器「CS310B」の場合
調節スイッチを「3」に設定してください。



●小洗浄水量 腰掛便器「CS460M・CS469」とセットの場合(標準洗浄水量：大6L/小5L)
バルブの調節ねじのマークを反時計回りに90°回して数値6に合わせる。



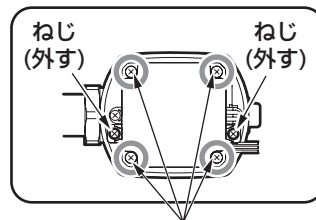
- 注1：CS460M・CS469とセットする場合は調節ねじを水量ラベルの数値6に合わせてください。
- 注2：CS464M・CS465/CS460M・CS469で水の流れが弱い場合は調節スイッチの数値を「1」から「2」へ変更してください。
- 注3：CS310Bは1～2歳児向けの小さな大便器です。
よって他の大便器より水勢が少ないため、調節スイッチの数値を「1」から「3」へ変更してください。
- 注4：CS300Bで水の流れが弱い場合は調節スイッチの数値を「1」から「2」へ変更してください。
- 注5：CS310Bで水の流れが弱い場合は調節スイッチの数値を「3」から「4」へ変更してください。
- 注6：SK330Cで水の流れが弱い場合は調節スイッチの数値を「1」から「2」へ変更してください。

裏面へつづく

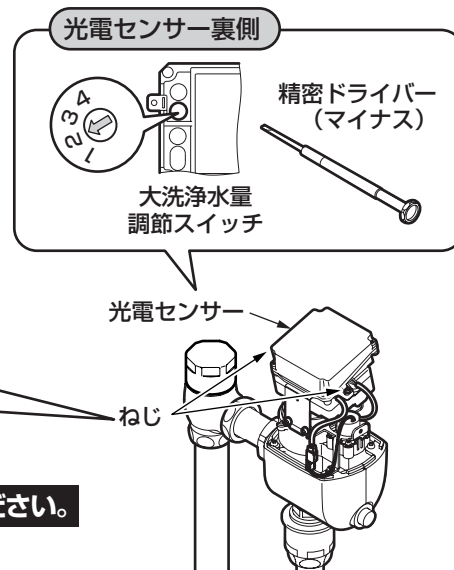
6-2 洗浄水量調節について(つづき)

【大洗浄水量の設定方法】

- ① 光電センサーのねじ(2カ所)を外す。
- ② 光電センサー裏側のゴムキャップを外し、精密ドライバー(マイナス)などでスイッチを調節する。



このねじは絶対に外さないでください。



7 リモコンおよびその他の設定

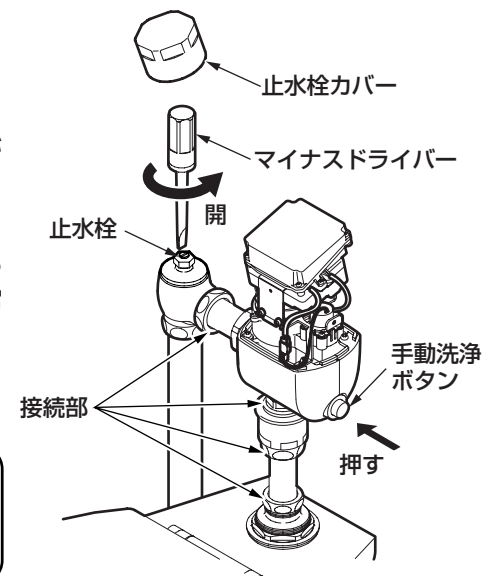
- リモコンについては、「10 リモコン(別売品)について」を参照してください。
- その他の設定については、「8 切替スイッチの調節」を参照してください。

8 水勢の調節

- ① 止水栓カバーを取り外す。
※TEF11LY型の場合は、工具を使用してください。
- ② 止水栓を開け、手動洗浄ボタンを押しながら水勢を調節する。
※水勢の調節は「便器・汚物流し」に同梱されている施工説明書をご参照ください。
※このとき、水はねがないことと、接続部やオートクリーンC本体に水漏れなどの異常がないことをご確認ください。
- ③ 止水栓カバーを取り付ける。
※TEF11LY型の場合は、工具を使用してください。

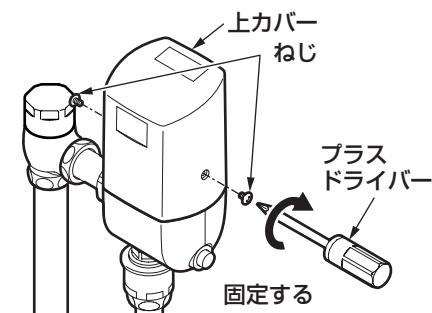
注意

工具を使用する場合は、めっきを傷付けないように必ず布片をはさんでください。



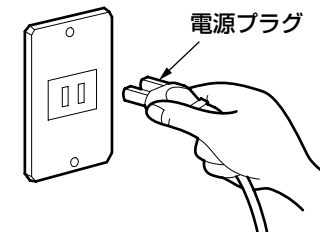
9 上カバーの取り付け

コードをかみ込まないように、十分に注意しながら上カバーをセットし、上カバーの裏側の穴から電源コードを通し、ねじで固定する。



10 プラグの差し込み

プラグをコンセントに差し込む。
※電源投入後5秒以内に自動的に水が流れますが異常ではありません。

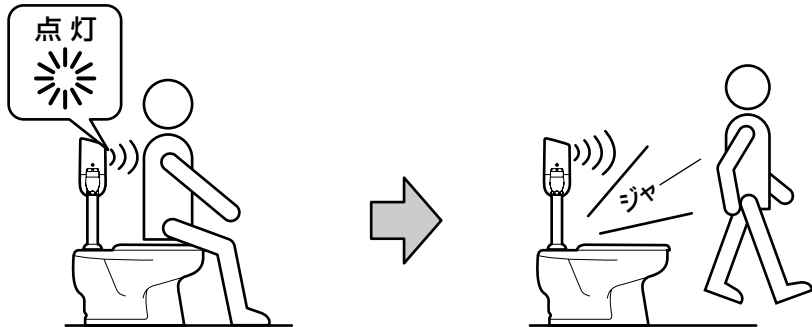


7

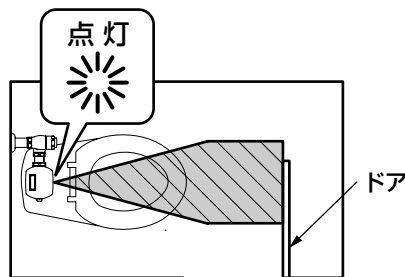
試運転

試運転は、必ず上カバーをかぶせて行ってください。

人体センサーの前に立ち、使用者を感知すると感知表示ランプが点灯し、6秒以上点灯させたあと立ち去ると感知表示ランプが消灯し、約10秒後洗浄水が流れることをご確認ください。



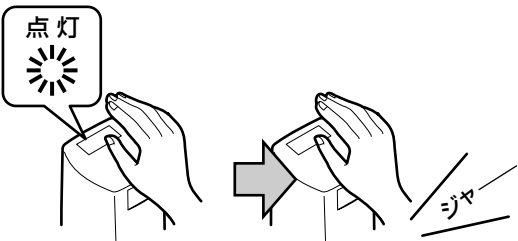
立ち去っても
感知表示ランプが
消灯しない場合



使用者が立ち去ったあと、人体センサーの感知表示ランプが消灯しない場合は、トイレブースの壁を感知していますので、感知距離の再設定が必要となります。設定方法は「**8** 切替スイッチの調節」を参照してください。ドアを開けたままで人体センサーの感知表示ランプが点灯する場合には、右記感知距離の再設定を行ってください。それでも感知表示ランプが点灯している場合には、ムダな洗浄を防ぐために自動洗浄機能を「切」に設定してください。設定方法は「**8** 切替スイッチの調節」を参照してください。

※人体センサーが壁やドアを感知していると正確に人体を感知できず、大小洗浄の判定や自動洗浄ができなくなります。

手かざしセンサーから5cm以内に約0.5秒手を近づけると、洗浄水が流れることをご確認ください。
ただし、1度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。



洗浄水量の少ない小洗浄で洗浄性能の確認を行ってください。

小洗浄性能のめやすとしては、76cmに切断したトイレトーパー（JIS品）を丸めたものが1度が1度に流れることを確認してください。
下表を参考にし、センサーから5cm以内に約0.5秒手をかざして、小洗浄を行ってください。トイレトーパーが流れない場合は、止水栓の開閉ねじで水勢の調節を行ってください。それでも流れない場合は、小洗浄水量を調節してください。
調節方法は「**6**」-「**6** 洗浄水量調節について」を参照してください。

大小洗浄機能	※人体センサーの感知時間	洗浄水量
大小	6秒以上～小洗浄判定時間 (120秒または150秒)	小洗浄水量
	小洗浄判定時間以上	大洗浄水量
大	—	大洗浄水量

使用者に操作方法がわかるように、お取り付けのシステムに合ったラベルを選び、オートクリーンC本体に近い壁面に貼り付けてください。

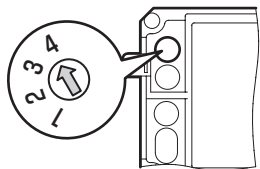
8

切替スイッチの調節

以下の設定を行うには光電センサーを取り外していただく必要があります。
光電センサーの取外要領は、「6-1 洗浄水量調節について」を参照してください。
(図は光電センサー裏側です。)

スイッチの設定を変更したあとは、必ず上カバーをかぶせて確認作業を行ってください。

感知距離の設定 (人体センサー)



スイッチ	1	2	3	4
感知距離 (単位:mm)	500	600	700	800

※出荷時は「スイッチ4:800mm」に調節してあります。

光電センサー裏側の感知距離調節スイッチのゴムキャップを外し調節してください。

- ①人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合
…感知距離調節スイッチを「4」から「3」へ回す。
- ②スイッチ切り替え後も人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合
…感知距離調節スイッチを1つずつ下げて調節してください。

手かざし時間切替方法

← スイッチ /

SW4: 小洗浄判定時間 150秒 / 120秒
SW3: 大小洗浄 大 / 大小
SW2: 自動洗浄 切 / 入
SW1: 手かざし時間 2秒 / 0.5秒



スイッチ1 (SW1) を切り替える。

工場出荷時は0.5秒に設定しています。
不用意な洗浄を防ぐため、スイッチ1 (SW1) を2秒に設定することもできます。

自動洗浄切替方法

← スイッチ /

SW4: 小洗浄判定時間 150秒 / 120秒
SW3: 大小洗浄 大 / 大小
SW2: 自動洗浄 切 / 入
SW1: 手かざし時間 2秒 / 0.5秒



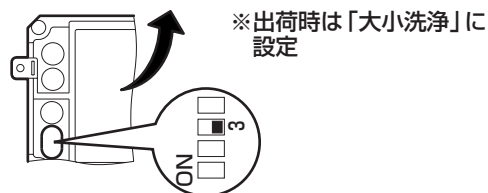
スイッチ2 (SW2) を切り替える。

流し忘れ防止のため、使用者が立ち去ったあとに自動で洗浄するよう工場出荷時に設定しています。
(TEF11SAP型・TEF21SAP型以外)
自動洗浄をオフにする場合は、スイッチ2 (SW2) を「切」に設定してください。
TEF11SAP型・TEF21SAP型は「切」に設定しています。

大小洗浄切替方法

← スイッチ /

SW4: 小洗浄判定時間 150秒 / 120秒
SW3: 大小洗浄 大 / 大小
SW2: 自動洗浄 切 / 入
SW1: 手かざし時間 2秒 / 0.5秒



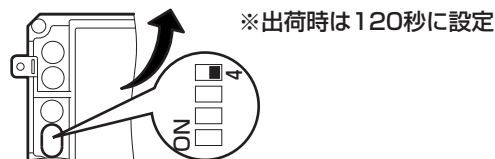
スイッチ3 (SW3) を切り替える。

スイッチ3 (SW3) を切り替えることで大洗浄のみの場合と、大小洗浄の判定を行う場合とを選択できます。
工場出荷時は大小洗浄の判定を行うように設定しています。
TEF11SAP型・TEF21SAP型は「大」に設定しています。

小洗浄判定時間の切替方法

← スイッチ /

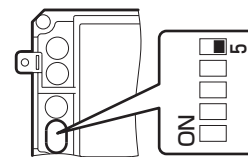
SW4: 小洗浄判定時間 150秒 / 120秒
SW3: 大小洗浄 大 / 大小
SW2: 自動洗浄 切 / 入
SW1: 手かざし時間 2秒 / 0.5秒



スイッチ4 (SW4) を切り替える。

人体センサーの感知時間により大 / 小便を判定して適正水量を流します。
工場出荷時は、120秒に設定していますが、スイッチ4 (SW4) を切り替えることで、150秒に設定することもできます。

設備保護洗浄の切替方法

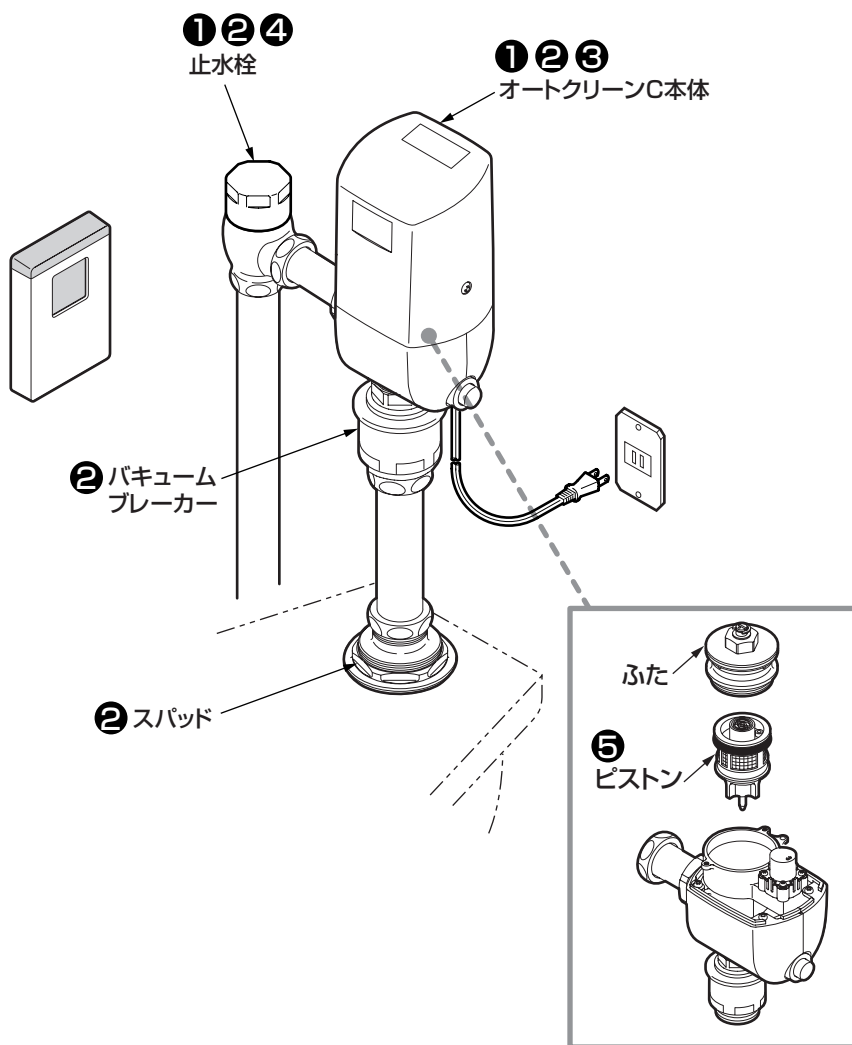


※出荷時は設備保護洗浄「入」

スイッチ (SW5) を切り替える。

24時間洗浄がない場合は、配管を保護するため、自動的に洗浄します。
設備保護洗浄をオフにする場合はスイッチ5 (SW5) を左側に切り替えてください。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① オートクリーンC本体、止水栓はしっかり取り付けていますか？

↳ 6-3 - ⑤「オートクリーンC本体の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

② 接続部はしっかり締め付けていますか？

↳ 6-1 - ②「スパッドの取り付け」参照

↳ 6-2 - ④「バキュームブレーカーの取り付け」参照

↳ 6-3 - ⑤「オートクリーンC本体の取り付け」参照

洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

③ 小洗浄水量・大洗浄水量は正しく設定されていますか？

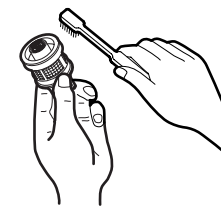
↳ 6-4 - ⑥「洗浄水量調節について」参照

④ 止水栓は開いていますか？

↳ 6-5 - ⑧「水勢の調節」参照

⑤ ピストンのごみ詰まりはないですか？

↳ ピストンの掃除をする。
掃除方法は取扱説明書を参照してください。

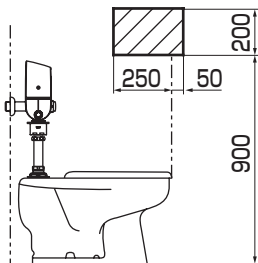


10 リモコン(別売品)について

リモコン(別売品:TES25型)をお買い上げいただいた場合は、下記に従って、設置およびコード設定をしてください。

リモコンの設置

リモコンを右図  部を参考に適切な位置に取り付けてください。



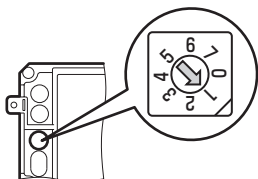
光電センサーとリモコンのコード設定

リモコンをお取り付けの場合は、光電センサーとリモコンのコード設定を必ず合わせる必要があります

〈リモコンを1台設置する場合〉

光電センサーとリモコンのコードを1に合わせます。

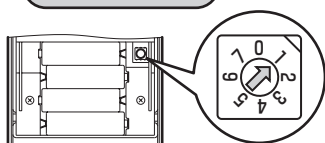
光電センサー裏側



※工場出荷時は「0」になっていますので、「1」に設定してください。

※光電センサーの取外要領は「6-4 - 6 洗浄水量調節について」を参照してください。

リモコン



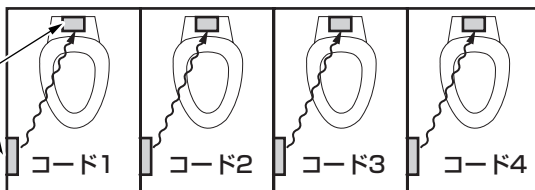
※工場出荷時は「1」に設定しています。

〈リモコンを2台以上設置する場合〉

リモコンを2台以上設置される場合、隣または対向のリモコン信号を受けて誤作動するおそれがあります。相互の干渉を防止するため、下図のようにリモコンと光電センサーのコード設定を合わせてご使用ください。

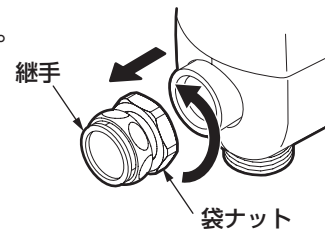
光電センサーとリモコンのコードを合わせる

コード1 コード2 コード3 コード4



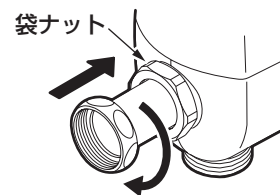
11 接続金具の交換

- ① モーターレンチでオートクリーンCの袋ナットを外す。
- ② 継手に布切れなどを当て、矢印の方向にパイプレンチなどの工具で回しながら外す。



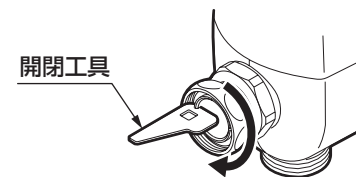
TH342-2・TH342-4の場合

- ③ ご購入いただいた接続金具の継手を手で矢印の方向に止まるまで回す。
- ④ 袋ナットをモーターレンチでオートクリーンC本体に締め付ける。

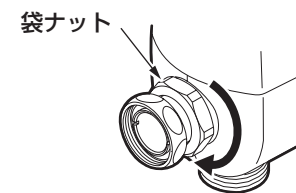


TH342の場合

- ③ 同梱の開閉工具で継手を矢印の方向に止まるまで回す。



- ④ 袋ナットをモーターレンチでオートクリーンC本体に締め付ける。



- ⑤ 同梱の開閉工具で、再び継手を矢印の方向に止まるまで回す。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。